

グローバル社会を生き抜く力を育てるため、 英語教育を強化しています

子どもたちにグローバル社会を生き抜く力を育むため、英語教育に力を入れています。

平成24年度からは、市独自に「英会話の時間」を小学校1年生から全校で実施し、英語のネイティブスピーカーである外国語指導助手（ALT）と英語を使って実際に会話をする活動の充実を図っています。

現在、国においては、英語教育の充実を図る取組が進められていますが、宇都宮市では、平成30年度から小学校1・2年生の授業時間を年間10時間に増やすとともに、3年生から6年生は、国が定める時間数に20時間を上乗せして実施するなど、今後も英語教育の強化を推進します。



▲小学校での「英会話の時間」の授業の様子

【問い合わせ】 学校教育課 ☎028-632-2728

宮っ子チャレンジウィーク(社会体験学習推進事業)を実施 するなど、「宮・未来キャリア教育」を推進しています

小・中学校9年間を通したカリキュラムや地域の教育力を生かした体験活動の充実などにより、望ましい勤労観や職業観の形成などを旨とする「宮・未来キャリア教育」を推進しています。

その中心として、中学2年生が様々な事業所等において5日間の社会体験を行う「宮っ子チャレンジウィーク」(社会体験学習推進事業)を実施しており、生徒に働くことの尊さを実感させ、人を思いやる心や社会のためになることを積極的に行う態度を育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つめさせる機会になっています。



福祉施設でのお年寄りとの触れ合い▶

【問い合わせ】 学校教育課 ☎028-632-2729